

和歌山大学経済学部

鈴木裕範ゼミナール

答えは現場にある!

~徹底的にこだわるのは「現場」

フィールドワークが人を鍛える~



愛知
夏休み期間中に岐阜(大垣・岐阜)
愛知(犬山市)をまわるフィールドワークを行いました。それぞれの市でまちぶりに取り組む方にお話をうかがったり実際に文化財を見てまわったり。そのおかげならでの魅力や取り組みを調査しました。

湯浅町 山田地区
「山田のゴッポ、たべせんけ! 食談義大会」
自然あふれる山田を散策しました。昔からの食文化に触れるため、山田の1日の食事を、お母さん方に描かしてもらい、「ゴッポ」をおいしくいただきました。



- 福井県
- 滋賀県
- 京都放送
- 奈良県
- 岐阜県
- 愛知県 犬山市
- 静岡県
- 毎日新聞

- 愛知県
- 徳島県

海南市 大崎
(地域活性化 資源発掘調査)
海南市の大崎地区は、港町で多くの海の幸がとれ、また山を使っておかんせもんをつくっています。実際自分たちがフィールドワークに行かせて頂いた時も、大崎でとれた足赤エビとワカメを使った料理を地元のお母さん方につくってもらい、おいしくいただきました。

湯浅町
湯浅町の活性化のために類加工量が全国の1割強、和歌山の9割弱を占めている「しらす」に注目して食べ歩きマップを製作しました。実際にしらす丼を食べる店を訪れ、男子目先、女子目先を大切に、味わいました。各店にこだわりが見えて面白かったです。



串本 大島
「くしと、大島の歩き」と題した観光マップを作るために4つの地区に分かれ、2日間にわたって実際に島内を歩き、住民の方へ聞き取り調査を行いました。是非私達がつくったおかげとして見て下さい。



那智勝浦町 太田地区
太田川を中心に展開する水田で田植えを行った後、自慢の太田米を使った料理をいただき、ヒアリング調査をしました。太田の伝統を学び、まちの人たちが考えるこれからの展望を聞き、太田に対する愛着や強い想いを感じました。